

ポータブル発電機900W HP900SV使い方

発電機の始動運転

1

燃料給油キャップつまみを“OFF⇒ON”の位置に合わせます。



2

エンジンスイッチを“停止⇒運転”の位置に合わせます。



3

チョークレバーを右へ回します。
エンジンが暖まっているときは不要です。



- 4
始動グリップを水平に勢いよく引っ張る。
(※斜めに引っ張ると切断する恐れがあります。)
グリップはゆっくり戻します。
(※始動グリップを引っ張った状態から急に離さないで下さい。)



- 5
エンジンが始動します。出力表示灯（緑色）が点灯します。



- 6
チョークレバーを左に戻します。

交流の場合

直流の場合

7

交流電源取出しにはコンセントを差し込み、器具の電源を入れます。複数の負荷（機器）がある場合は、発電機への負荷を軽減するためひとつずつ接続または起動（電源入）させて下さい。



※過負荷警告灯（赤色）は以下の場合に点灯します。

- ・接続機器の負荷容量が定格出力を超過
- ・オーバーヒート
- ・交流コンセントから定格電圧を超える電圧が出力

※コンプレッサーや水中ポンプなど、起動時に大電流が流れる電気機器を使用したとき、警告灯（赤色）が数秒間点灯する場合がありますが、故障ではありません。

8

交流電源はおおむね以下の範囲の電気器具が使用できます。

- ・精密機器（電子制御機器、パソコン、電子計算機、マイコン付機器、充電器）300W程度まで
- ・電動工具類、照明（メタルハライドランプ、

7-2

直流電源の取出しにはチャージコードをコンセントに接続します。直流電源取り出しの場合は右側直流プロテクター（透明ノブ）が押されているか予め確認しておきます。

チャージコードは以下の順に接続します。

- (1)発電機本体コンセント⇒
- (2)バッテリー +端子⇒
- (3)バッテリー -端子



※直流リセットスイッチは12Vバッテリー充電中に定格以上の電流が流れると自動的に“OFF（断）”となります。再度充電する場合はノブを押込んで“ON（入）”にしてください。直流リセットスイッチが“OFF（切）”となる場合はバッテリー容量・放電状態を発電機指定容量内に減らしてください。

8-2

バッテリー充電中ニ「バッテリーから電気を取ったり、バッテリー充電中に車のスターターモーターを回さないでください。

密閉式バッテリーには接続しないで下さい。
（専用のバッテリーが必要です。）

水銀灯) 400W程度まで

・照明(白熱灯、ハロゲン灯)、電熱器、900Wまで

※電気工具類・汎用モーター類の一部は上記数値範囲内であっても起動電流が大きく使用できないものもあります。

電気器具の合計負荷が発電機の取出し可能範囲を超えた過負荷で使用しないで下さい。発電機損傷の原因となります。

精密機器等ご使用の際は発電機のエンジンノイズの影響を受けない距離を確保してください。

9

エコスロットル“入”にすれば負荷に応じた経済的な運転ができます。



※直流電源はエコノミースイッチを“OFF”の状態で使用します。

発電機の停止・燃料補給

1

交流電源の場合器具の電源を切り、本機からコンセントを抜きます。

1-2

直流電源の場合チャージコードは以下の順に取り外します。接続とは逆の順序です。

- (1) バッテリー - 端子⇒
- (2) バッテリー + 端子⇒
- (3) 発電機本体コンセント

2

エンジンスイッチを“運転⇒停止”に合わせます。

3

エンジン停止確認後、燃料給油キャップを開け内側オレンジ色目印まで給油します。



内部のフィルター（白い網）を外さないで下さい。

給油時に異物の混入や燃料タンクの錆が給油時に混入すると本機の故障の原因になります。